



図書館だより

令和5年1月号
宇都宮市立清原中学校



あけまして、おめでとうございます。

今年の干支は「癸卯（みずのと）」です。「癸」は、春の間近でつぼみが花開く直前という意味があり、「卯」はもともと「茂」が由来といわれ春の訪れを感じるという意味があります。つまり、「癸卯」はこれまでの努力が花開き、実り始めるという縁起の良さを表しています。今年うさぎのように飛躍できる年になるといいですね。



今月の特集

うさぎの本



「楽隊のうさぎ」 中沢けい/著 新潮社 913 ナ

主人公の克久は、中学校入学後すぐに人相の悪い三人組に取り囲まれます。

「吹奏楽部に入らないか？」知能犯や山賊みたいと思った悪党三人組は、実は吹奏楽部の三年生でした。音楽にも吹奏楽にも興味のなかった克久でしたが、吹奏楽部に入り戸惑いながらも音楽に夢中になります。



「兎の眼」 灰谷健次郎/著 913 ハ KADOKAWA

大学を卒業したばかりの小谷先生はゴミ処理所のそばにある小学校に赴任し、一年生を担当します。クラスには一言もしゃべらない鉄三がおり、決して心を開こうとはしません。そんな鉄三に打ちのめされる小谷先生でしたが、同僚の先生や、鉄三の祖父、そして学校の子供たちとふれ合う中で、鉄三と向き合おうと決心します。名作です。



「シートン動物記・ぎざ耳坊やの冒険」

アーネスト・T・シートン/著 集英社 480 シ

ウサギの坊やは、片耳のふちをヘビにかまれてぎざぎざになってしまったので、ぎざ耳坊やと呼ばれるようになりました。母ウサギのモリーから生きる知恵を教えられますが、守らなかったときぎざ耳坊やに危険がせまります。これらの話は動物学者シートンが動物の生活をくわしく調べて書いたもので、動物の生態やくらしがよくわかります。



☆うさぎが題名の本は他にもあります。図書室のコーナーにありますので、ぜひ読んでみてください。

「本の福袋」大盛況でした！

12/12（月）～16（金）「本の福袋」を実施しました。初日から多くの人がおみくじを引きに来てくれて、40個用意した本が、3日目には全部貸し出されました。おみくじを引いてくれたみなさん、ありがとうございます。思いがけない本には出会えましたか？

本を選んだり、おみくじの運勢は図書委員会のイベント係のみなさんが一生懸命考えてくれました。図書委員会では今後も楽しい企画を考えていきたいと思います。



※北校舎の廊下に図書委員おすすめの本の紹介「この一冊にありがとう」の掲示をしました。こちらもぜひ読んで本を選ぶときの参考にしてください。

「読書アンケート」の結果発表

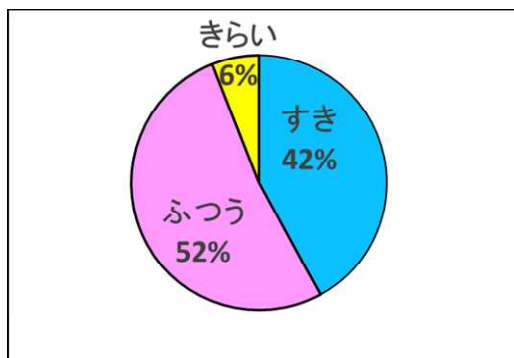
みなさんが今までよりもっと本に親しんでもらえる方法を考えるため、「読書アンケート」が行なわれました。その集計結果です。

実施日 12月2日

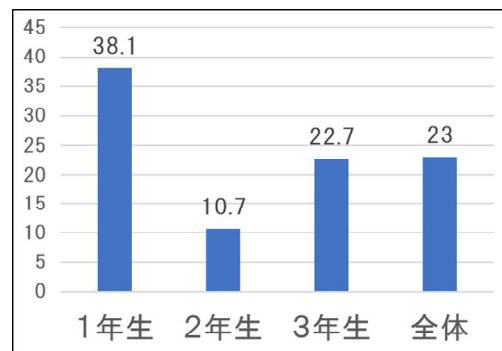
回答人数 84人

回答者 1年4組, 2年5組, 3年5組のみなさん

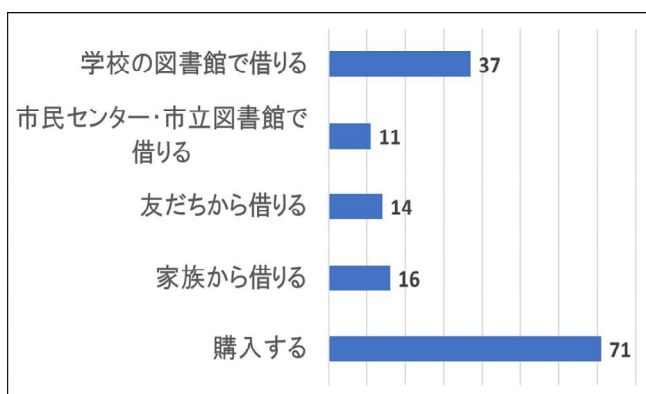
1. 本を読むことが好きですか？



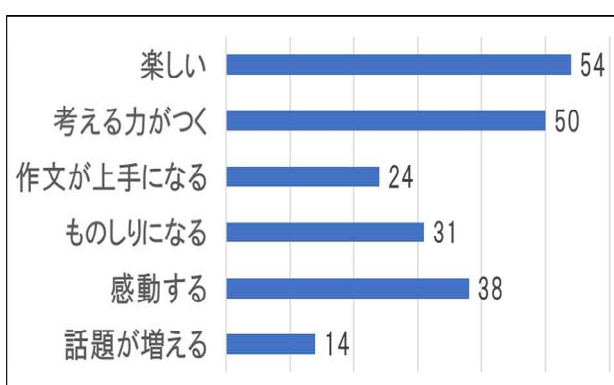
2. 1か月の読書冊数は？（11月）



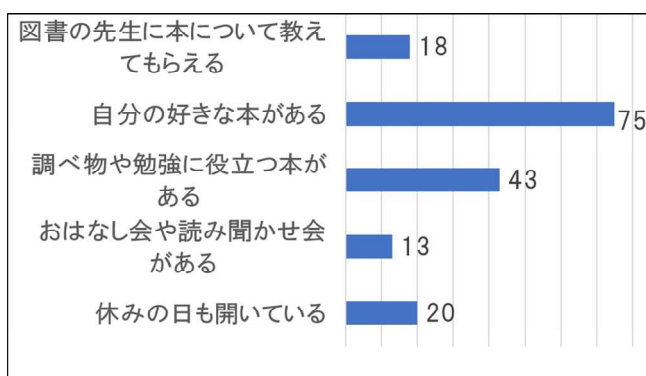
3. 読む本をどのように用意していますか？



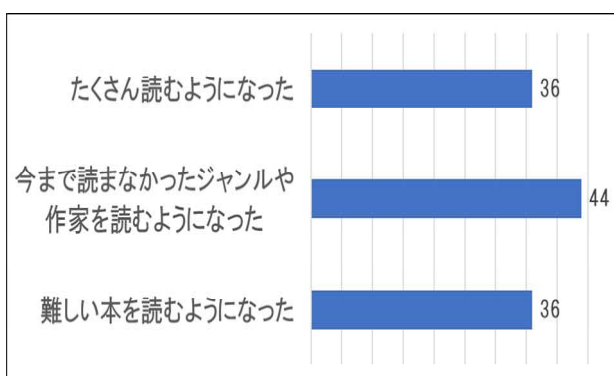
4. 読書についてどのように考えていますか？



5. 学校の図書館に望むことは？



6. この1か月に読んだ本について（昨年と比べて）



第67回学校読書調査(2022年)によると、全国の中学生の1か月の読書冊数は **4.7冊**です。

本校の平均は **23冊**と全国平均よりずっと多くの本を利用しています。図書室にはいろいろな本があり、新しい本も増えていますので、ぜひ利用してくださいね。アンケートにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。